

国立大学法人島根大学経営協議会（第142回）〈議事要録〉

日 時 令和6年6月19日（水）14:00～16:20

場 所 松江キャンパス本部棟5階 大会議室（対面及びオンライン）

出席者 大谷学長，増永理事，松崎理事，金山理事，椎名理事，大川理事，宮協理事
大西委員，久保田委員，高塩委員，三輪委員，室崎委員，山口委員，吉山委員，渡辺委員

欠席者 上野理事，上定委員

オブザーバー 千家監事，栗原監事

議決事項1 中期目標・中期計画及び島根大学ビジョンに係る令和5年度実績の検証及び 令和6年度実行計画の策定について

○ 増永理事から資料に基づき，中期目標・中期計画及び島根大学ビジョンに係る令和5年度実績の検証及び令和6年度実行計画の策定について説明があった。

○ 学外委員から，国立大学協会が発表した国立大学の財務状況に関する声明に対する本学の見解について質問があり，学長から，近年の物価高騰，光熱費上昇などが影響している部分はあるが，法人化以降，年々財政状況が厳しくなっている実態があり，限られた予算の中で着実に計画を実行していきたいとの回答があった。

続けて同学外委員から，島根大学ビジョンについて，さらに大胆に見直す必要があると考えており，例えば，県内就職率といった大学の力だけでは達成しがたい目標値のように，計画の達成のために担当者の業務に弊害が生じることがないように，目標の達成が本学の発展に寄与しているか絶えず確認しながら進めていくことが重要との意見があった。

学長から，県内就職率については本学の研究成果等を地域に還元し，学生の受け皿となるような研究開発型の企業を増やすことで長期的に目標達成に近づけていきたいと考えていること，島根大学ビジョンについては理想高く掲げたものであり，各項目の達成は大学の発展につながると考えるが，項目数が多いことから，中期目標・中期計画との整合性を図りながら精選した項目を確実に実行していきたいとの発言があった。

○ 学外委員から，地域貢献人材育成という計画に対する指標である県内就職率の実績は目標に達していないが，社会人リカレントや大学の地域貢献度ランキングなど成果が出ているものもあり，どこにスポットを当てるかで評価が変わってくるため，少子化の流れの中で社会人をターゲットにすることも重要と考えたとの意見があった。学長から，社会人へのリカレント教育や留学生受入も重要と認識しており，今後も取組を進めていきたいとの発言があった。

○ 学外委員から，県内就職率を高めることについては企業側も努力を続けており，今後とも支援したいと考える経営者も多いことから，目標を後退させることは本学の存在意義や特色を薄れさせることにつながりかねないため，慎重な議論が必要との意見があった。学長から，経済界からの期待の大きさは感じており，一つひとつの目標値を下げることはないが，ビジョンを精選しながら対応していきたいとの発言があった。

○ 学外委員から，県内就職率を高めることには賛成だが，大都市に就職先が集中する傾向にある中で地方大学だけの力でその状況を変えることは難しいため，単純な数字だけで評価すべきものでないことを地方大学が連携して声を上げていく必要があるとの意見があった。

○ 審議の結果，原案通り議決された。

議決事項2 令和7年度医学部入学定員増員計画について

- 増永理事から資料に基づき、令和7年度医学部入学定員増員計画について説明があり、審議の結果、原案通り議決された。

議決事項3 役員給与規程の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき、役員給与規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案通り議決された。

議決事項4 令和5事業年度財務諸表等（案）について

- 大川理事から資料に基づき、令和5事業年度財務諸表等（案）について説明があり、審議の結果、原案通り議決された。

議決事項5 令和7年度概算要求（施設整備事業を除く）について

- 大川理事から資料に基づき、令和7年度概算要求（施設整備事業を除く）について説明があった。
- 学外委員から、教育研究組織改革分について、継続分を含め20名の要求となっているが本学の資源を転換するのではなく、純増との考えで良いかとの質問があり、大川理事から、純増として要求しているとの回答があった。
- 審議の結果、原案通り議決された。

議決事項6 「京田」及び「曲り田」駐車場の利用者負担について

- 大川理事から資料に基づき、「京田」及び「曲り田」駐車場の利用者負担について説明があり、審議の結果、原案通り議決された。

議決事項7 役員の退職手当算定に係る業績評価について

- 学長から資料に基づき、役員の退職手当算定に係る業績評価について説明があり、審議の結果、原案通り議決された。

報告事項1 第141回経営協議会（書面審議）の結果について

- 学長から資料に基づき、第141回経営協議会（書面審議）の結果について報告があった。

報告事項2 先進医療電磁工学共同研究講座の設置期間の更新について

- 学長から資料に基づき、先進医療電磁工学共同研究講座の設置期間の更新について報告があった。

報告事項3 内部統制システム（役員モニタリング）に係る令和5年度の実施状況と令和6年度のテーマについて

- 金山理事から資料に基づき、内部統制システム（役員モニタリング）に係る令和5年度の実施状況と令和6年度のテーマについて報告があった。
- 学外委員から、ハラスメント防止体制について今年度はテーマに取り上げないのかとの質問があり、金山理事から、令和3年度以降、ホームページにおけるハラスメント防止に関わる啓発情報の提供、研修内容の見直し・ブラッシュアップなどハラスメントに関する取組を毎年強化しており、モニタリングを日常的な業務に組み込むような体制を整備しているため、役員モニタリングについては状況を勘案しながら対応したいとの回答があった。

- 学外委員から、教職員のメンタルヘルスサポート体制について、働き方改革の中で勤務時間管理の重要性が増しているが、勤務時間の管理についてモニタリングテーマのメンタルヘルスサポート体制に含まれるのかとの質問があり、金山理事から、勤務時間の管理体制についても非常に重要であるため、メンタルヘルスサポート体制の中に組み込むことを考えたいとの回答があった。

報告事項4 令和6年3月卒業・修了者の進路状況について（令和6年5月1日現在）

- 松崎理事から資料に基づき、令和6年3月卒業・修了者の進路状況について（令和6年5月1日現在）報告があった。
- 学外委員から、人口減少対策への取組の中でUI ターン対策に力を入れている自治体があるが、大学として卒業生との関わりの強化を視点として持ってもよいのではないかと意見があった。

学外委員から、県内就職率について、都市部の大企業を中心に中途採用の割合が増えていることから、将来的には、新卒だけでなく本学卒業生を含めた UI ターン者数を把握していくことが重要と考えるとの意見があった。

松崎理事から、産学官人材育成コンソーシアムにおいて自治体や企業と連携し、UI ターンを含めた活動を考えていきたいとの発言があった。
- 学外委員から、島根県西部地区は限界集落が増えていることから、県内の大学が力を合わせ、県内各地域での均等な就職につながるような活動を望むとの発言があった。

松崎理事から、今年度からクロス教育を開始しており、学生の実践的な力を養うための場として地元企業に参加してもらい、将来の就職につなげていきたい、また、県内西部地区について特命の副学長を任命しており、これまで以上に力を入れて取り組んでいきたいとの発言があった。

報告事項5 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。
- 学外委員から、令和5年度の収支が赤字となったことを受けた今後の見通しについて質問があった。

椎名理事から、令和5年度はコロナが5類の扱いとなり、収入面で関連する補助金が減少した一方、依然としてコロナに対応する病床を確保しながら県全体の救急患者に対応したため厳しい数字となった。今後は医師の働き方改革と教育研究のバランスを考えながら病院の運営をしていかなければならないため引き続き厳しい状況であるとの回答があった。
- 学外委員から、6月からの診療報酬改定を受けた今後の経営状況について質問があり、椎名理事から、診療報酬改定で率は上昇したが、多くが人件費となるため経営状況としては厳しい状況が続くとの回答があった。

報告事項6 理事の担当業務における本学の強みと課題について

- 金山理事から資料に基づき、理事の担当業務における本学の強みと課題について報告があった。